はままつ

図書館だより

4月号

vol.206

令和6年3月29日
浜松市立図書館

特集

春野図書館に行ってみよう！

～第4回　地区図書館巡り～

特集

春野図書館に行ってみよう！ ～第4回　地区図書館巡り～

春野図書館 ってどんなところ？

春野図書館は、平成4年8月3日に「春野町立図書館」として開館し、平成17年の市町村合併を経て現在の「浜松市立春野図書館」へ名称変更しました。木造一部二階建の建物は木の持つ柔らかさと温もりを大切に、地元の杉、ヒノキ、松がふんだんに使われています。また、「春野歴史民俗資料館」も隣接しており、市内外から様々な方に利用されています。

春野図書館の特徴

1. 木の温もりが感じられ、自然環境に恵まれた読書に最適な空間

春野図書館は季節ごと色づく山々と気田川の清流に囲まれており、自然の織り成す美しい景色を眺めながら、静かにゆったりと本を読むのに最適な環境が整っています。更に初夏や秋など気候の良い時期は、屋外に設置した木製ベンチに腰掛けて清流「気田川」からの川風を感じながらの読書も楽しめるなど、大自然のもと、くつろぎと癒しに溢れた図書館です。

2. 地域に関連した図書コーナーを設置

春野地区に関係の深い事柄をテーマに以下のような図書コーナーを設置しています。読書を通じて春野の魅力に触れてみませんか。

◆山と木コーナー

春野は山々に囲まれた林業のまちでもあることから、山や木の関連本を集めたコーナーを設置しています。木の香り漂う館内で読書すれば、山や木のもつ魅力をより一層感じられるかもしれませんよ。

◆宝塚コーナー

宝塚歌劇団で演出家として活躍し、レビューの王様と謳われた白井鐵造氏が春野町出身ということから、春野図書館では宝塚関連の資料を集めた専門コーナーを設置しています。

宝塚のスターにまつわる様々な本を読んだり、CDで美しい歌声を聞いたりして、華麗なステージに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

3.年代やニーズに応じた多様な図書資料

◆絵本、紙芝居、YA本にAV資料も揃っています

1階書架の北側奥には絵本を集めた部屋があります。子供向けの机と椅子、3畳敷の小上がり、かわいらしい装飾など、子供たちがのんびりと楽しく絵本を読める空間となっています。

1階 絵本の部屋

2階 AVコーナー

また、AV資料(CD・VHSテープ・DVD)、紙芝居、中高生向けに選書したYA本のコーナーなどもあり、利用される皆様のニーズに応じた多様な閲覧、貸出が可能です。 ※映像資料は貸出利用のみとなります。

4.「春野歴史民族資料館」が隣接しています

図書館と隣接した「春野歴史民俗資料館」では、春野町の民俗や地域の歴史に関する様々な資料展示がされています。図書館とは別の施設にはなりますが、共通の入口かつ建物内で行き来できることもあって、図書館利用と合わせて資料館を見学されたり、資料館とともに図書館も覗かれたりと、お互いの魅力を活かした利用がされています。

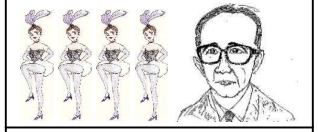
現在、企画展示「春野の学校」を開催中!

上記のQRを読み取って、ぜひ春野図書館公式インスタグラムをご覧ください。各種情報から春野の美しい景色まで随時UPしています。

春野といえば・・・

古くから天狗伝説が伝えられている春野町。そんな春野のシンボル「大天狗面」。縦8m、横6m、鼻の長さ4mの巨大さは迫力満点!!

宝塚歌劇団の演出家でレビューの王様白井鐵蔵氏は春野出身。「すみれの花咲く頃」の作詞もされており、町内には記念館があります!!



春野を流れる清流「気田川」。春野支所前の土手には「日本一・きれいな川」の文字があり、5月頃にはサツキの花でピンクに色づきます。

ほかにも見どころいっぱいの春野。春野図書館には各種パンフレットや郷土資料も用意していますので、ぜひご自身で調べてみては!

コレ知ってる？

時を告げる宝塚ソング

春野地区は春野文化センター敷地内の「白井鐵造記念館」や春野福祉センターの入浴施設「すみれの湯」など、宝塚歌劇団との繋がりを感じさせるものがいくつかありますが、7時、17時、21時に宝塚歌劇団の代表曲「すみれの花咲く頃」のBGMで時を告げていることはご存じでしょうか。

単なるサイレンや鐘の音とは違った本地区ならではの時報は、各時間でメロディにも変化をつけているそうなので、機会があれば聴き比べてみるのも楽しいですね。

I ♥ 辞書

百科事典や国語辞典だけじゃない！
図書館では様々なジャンルの事典・図鑑を収集しています。

今年の大河ドラマ「光る君へ」では、豪華絢爛な衣装をみるのも楽しみのひとつですね。
中央図書館 調査支援室で所蔵している、歴史を彩った「色」を調べるための貴重な資料をご紹介します。

「日本色彩大鑑」（全5冊＋別冊）

松本 宗久／著
河出書房新社　1993年

肉眼で見ている色彩を、印刷で完全に再現するのは難しいとされています。
この「日本色彩大鑑」は、古代の色を草木の天然染料で忠実に再現、染色した本物の絹（正絹染布）1395色をそのまま収録した日本色彩見本帖です。
染め上げに6年かけた色彩はとても美しく、「源氏物語」や「枕草子」といった古典文学に登場する配色を実際に体感することができます。

「王朝のかさね色辞典」

吉岡幸雄／著
紫紅社　2012年

「かさね色」とは、表と裏の生地を組み合わせたり、十二単のように複数枚かさね合わせたりして生み出す配色やグラデーションのことです。
王朝の人々が季節の美しさを感じとって、自らの衣装にその色彩をあらわした「かさね色」。その配色の妙を味わえる辞典です。

図書館からのお知らせ

絵本講座　～おうちで読み聞かせを楽しもう～

月に1回ずつテーマを変えて絵本講座を開催します。絵本の楽しさについて学んでみませんか？

日程：【城北図書館】5月8日（水）、6月12日（水）、7月10日（水）
　　【中央図書館】5月15日（水）、6月19日（水）、7月17日（水）
場所：各館おはなしのへや
時間：11時～11時30分
対象：0～3歳くらいの子の保護者

詳しくは
こちらから▶
（図書館HP）

はままつ図書館だより No.206（2024年3月29日発行）

浜松市立中央図書館
浜松市中央区松城町214番地の21
☎ 053−456−0234　FAX 053−453−2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ https://www.lib-city-hamamatsu.jp/

図書館だより
バックナンバー